

・(3-1) 生涯学習課所管事業

1. 女性センター管理運営事業
2. 社会教育総務費（各種社会教育団体への補助）
3. 野々市市成人式
4. 生涯学習推進事業(学習情報提供事業)
5. 生涯学習推進事業(ののいち市民大学事業)
6. 生涯学習推進事業(生涯学習ボランティア支援事業)
7. 生涯学習推進事業(家庭教育推進事業)
8. 子ども学びの教室事業
9. 子ども自然体験事業
10. 青少年活動支援事業
11. 少年育成センター運営事業
12. 青少年センター管理
13. 野々市市立志式
14. 放課後子ども教室推進事業
15. 公民館施設管理費
16. 公民館学習活動支援事業(ののいちマナビィフェスタ)
17. 公民館学習活動支援事業(寿大学事業)
18. 公民館学習活動支援事業(フォルテ児童合唱団)
19. 公民館学習活動支援事業(地区公民館補助)
20. 図書館奉仕事業
21. 読み聞かせ推進事業

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4301	事務事業名	女性センター管理運営事業				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実					区分	自治事務 ハード・ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令					
事業の対象	誰が 誰に	野々市市 一般市民及び市内勤務の方		事業の目的		女性の社会参画支援事業の実施と活動を支援・推進する拠点としての施設管理。			
事業の内容	自主事業の開催。施設を利用したサークル活動の育成。		平成23年度 活動内容		女性のための自主事業の実施。(13講座 延べ24回) 施設を利用したサークル活動。(25団体)				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	施設利用者		人	12,000	13,202	10,923	12,000	
		サークル数		団体	30	25	25	30	
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)		60		64		60	
		一般財源 (千円)		6,715		6,671		47,053	
		事業費計 (A) (千円)		6,775		6,735		47,113	

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動の推進。	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動の推進。	女性のための自主事業の実施。施設を利用したサークル活動の推進。

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	施設の規模から考えると、更にサークル活動を推進する余地があると考え。改修工事により、施設管理に係るコスト削減が図れる。
	A			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	老朽化により施設の計画的改修が必要。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4302	事務事業名	社会教育総務費(各種社会教育団体への補助)				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
		事業開始		**		年度			
	終了予定		**		年度				
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法第12条						
事業の対象	誰が 誰に 野々市市 一般市民及び市内勤務の方	事業の目的	近隣大学や各団体と連携した社会教育の支援体制の充実を図り、市民が自主的、継続的な学習機会を得ることができ、学んだ成果を地域に還元できる学習社会の構築に努める。						
事業の内容	社会教育委員会を開催。市の教育振興基本計画である「野々市市教育ユニバーサルプラン」の策定。市内社会教育関係団体の育成と補助金の交付。	平成23年度 活動内容	◇社会教育委員会議の開催 4回 ◇教育ユニバーサルプランの策定 500部 ◇各団体への補助金の交付 女性協議会65万円 スカウト育成会 57万円 子ども会 108万円 PTA連合会 75万円						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標								
事業の コスト	事業 内 財 源 内 訳	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	4,091		4,241		4,610		
		事業費計 (A) (千円)	4,091		4,241		4,610		

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	社会教育の進行を図るため、社会教育委員会の中で調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の進行を図るため、社会教育委員会の中で調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の進行を図るため、社会教育委員会の中で調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の進行を図るため、社会教育委員会の中で調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	社会教育の充実を図るため、各種社会教育関係機関・団体を継続的に支援し、連携を強化する必要がある。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	各機関・団体と課題を整理し、自立した団体運営を検討することが必要。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4303	事務事業名	野々市市成人式				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成					区分	自治事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令					
事業の対象	誰が 誰に	野々市市 成人者		事業の目的	新成人者の前途を祝福するとともに、人生の意義ある ステップとなることを目的とする。				
事業の内容	成人式の式典開催、実行委員会の設置。			平成23年度 活動内容	アトラクション(20年のあゆみビデオ上映)、式典、記 念写真撮影、実行委員の募集(平成24年1月8日 (日)開催 対象者707人 参加者289人)				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	実行委員会開催回数		回	10	8	8	10	
		参加率		%		40	41	50	
事業の コスト	区分		H22		H23		H24予算		
	事業内 訳	国庫支出金	(千円)						
		県支出金	(千円)						
		地方債	(千円)						
		その他	(千円)						
		一般財源	(千円)	1,331		869		819	
	事業費計	(A) (千円)	1,331		869		819		

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	式典開催、実行委員会運営	式典開催、実行委員会運営	式典開催、実行委員会運営

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	市として成人を祝うとともに、新成人が実行委員会を運営することによりまちづくりへの一助となっている。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	転入されてきた成人者にも喜んでもらえるような内容を検討する。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4304	事務事業名	生涯学習推進事業(学習情報提供事業)			所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法第12条					
事業の対象	誰が 誰に 野々市市 一般市民及び市内勤務の方	事業の目的	各種公民館サークルの活動支援					
事業の内容	公民館等におけるサークル情報の提供。	平成23年度 活動内容	公民館サークル募集のチラシを全戸配布及び各公民館に来館者用に配布。(広報5月号)					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標							
事業の コスト	事業 内 訳	区分	H22		H23		H24予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	126	126	126	126		
事業費計 (A) (千円)	126	126	126	126				

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)		各種公民館サークルの活動支援として、募集のチラシの全戸配布など啓発事業の実施。	各種公民館サークルの活動支援として、募集のチラシの全戸配布など啓発事業の実施。	各種公民館サークルの活動支援として、募集のチラシの全戸配布など啓発事業の実施。

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	広報折込で全戸配布することで、公民館活動を情報提供できる必要性の高い事業である。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	1サークルあたりのスペースが小さく高齢者などには文字が見にくい。文字を見やすくする改善が必要と考える。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4305	事務事業名	生涯学習推進事業(ののいち市民大学事業)				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実					区分	自治事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							
	行政改革 推進項目	07 大学及び民間企業等との連携					事業の開始・終了年度		
				事業開始		**	年度		
				終了予定		**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法第3条					
事業の対象	誰が 誰に	野々市市 一般市民及び市内勤務の方	事業の目的	市内及び近隣大学と連携し、情報化や環境保全、地域文化の発信など社会の課題に対応した学びの場を地域住民に提供するとともに、一人ひとりの学習成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築を目指す。					
事業の内容	◇コミュニティ・カレッジ(市民の運営による教養講座) ◇マイ・タウン塾(町内会単位での講座) ◇ののいち ネット塾(金沢工業大学と市で協力運営するネット上の 学習サイト。市民が講師または受講者として学習に参 加) ◇公開講演会(放送大学と連携した公開講座)		平成23年度 活動内容	◇コミュニティ・カレッジ 16講座、延べ278人受講◇マイ・タ ウン塾 4講座、延べ125人受講◇ののいちネット塾 40講座開設 ◇公開講演会 1講座、100人受講					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	市民大学校事業への参加者数		人	470	447	463	470	
事業の コスト	区分		H22		H23		H24予算		
	事業 内訳	国庫支出金	(千円)						
		県支出金	(千円)						
		地方債	(千円)						
		その他	(千円)						
		一般財源	(千円)	589	229	290			
事業費計	(A) (千円)	589	229	290					

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	◇コミュニティ・カレッジ ◇マイ・ タウン塾 ◇ののいちネット塾 ◇ 公開講演会	◇コミュニティ・カレッジ ◇マイ・ タウン塾 ◇ののいちネット塾 ◇ 公開講演会	◇コミュニティ・カレッジ ◇マイ・ タウン塾 ◇ののいちネット塾 ◇ 公開講演会

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	市民自ら企画運営するなど、循環型生涯学習社会の推進を図るために意義のある事業と考える。学習に対する市民ニーズを的確に捉え、講座等の参加者の拡大を目指す。
	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	生涯学習社会の実現に向け、市民の参画を促す施策の推進が必要。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4306	事務事業名	生涯学習推進事業(生涯学習ボランティア支援事業)				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務 ソフト事業 単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
				事業開始	**	年度				
			終了予定	**	年度					
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法第3条							
事業の対象	誰が 誰に	野々市市 市民及び近隣地域住民	事業の目的	知識・技能・経験を有する地域の方々に「学びのサポーター」として登録し、その活動の場を設けることにより、青少年の体験活動の機会の拡大、住民のまちづくりへの参画意識の向上、学社連携の強化を図る。						
事業の内容	①学びのサポーターの登録・サポーターを随時募集し、データベースを作成する。②学びのサポーターの活用...◇「学びのサポーターとつくる夏休み体験」【公民館活用事業】各地区公民館で夏休み期間に講座を実施。◇「地域人材活用助成」【学校活用支援事業】各小中学校での地域人材の活用に助成。		平成23年度 活動内容	①学びのサポーターの登録...37名登録。内、6名が23年度に新規登録。②学びのサポーターの活用【夏休み体験】各公民館で2講座開講(野々市公民館のルームプレート作り講座は申込みが殺到したため教室を2回開催した。)合計8講座で計172名参加。【学校活用支援事業】市内小中合計で約87回実施。計2586名参加。						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込			
	成果指標	学びのサポーター登録・活用事業参加者	人	3,000	3,785	2,886	3,000			
		学びのサポーター登録数	人	55	37	37	37			
事業の コスト	事業費	区分	H22		H23		H24予算			
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	489		445		200			
事業費計 (A) (千円)	489		445		200					

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学びのサポーターの登録・活用事業...◇「学びのサポーターとつくる夏休み体験」【公民館活用事業】◇「地域人材活用助成」【学校活用支援事業】	学びのサポーターの登録・活用事業...◇「学びのサポーターとつくる夏休み体験」【公民館活用事業】◇「地域人材活用助成」【学校活用支援事業】	学びのサポーターの登録・活用事業...◇「学びのサポーターとつくる夏休み体験」【公民館活用事業】◇「地域人材活用助成」【学校活用支援事業】	学びのサポーターの登録・活用事業...◇「学びのサポーターとつくる夏休み体験」【公民館活用事業】◇「地域人材活用助成」【学校活用支援事業】

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	住民のまちづくりへの参画を推進するうえで、重要な事業と考える。サポーターの活用事業を増やすため、チラシ・市HP・広報等での「学びのサポーター」募集を随時行っていきたい。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	活動内容等に変更がないかの確認をサポーターに行い、随時更新をすることで利用しやすいデータベースを作成していきたい。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4307	事務事業名	生涯学習推進事業(家庭教育推進事業)				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 1 知・徳・体のバランスが取れた教育の充実 3 健やかな体をはぐくむ教育の推進				区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(1) 家庭教育、子育て支援の充実							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
						事業開始	**	年度	
						終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令					
事業の対象	誰が 誰に	野々市市 一般市民及び市内勤務の方		事業の目的	少子高齢化や核家族化、地域の希薄化など、保護者や子どもたちがとりまく社会環境が変化する中、支え合う地域社会を目指して家庭、地域、学校の連携を強化しながら社会全体で子どもたちの成長の支援する。				
事業の内容	家庭教育啓発事業 家庭教育学級(PTA)、幼児家庭教育講座、就学時子育て講座、思春期子育て講座など、さまざまな機会を通じた学習機会を提供。保育園での保護者への相談活動など、家庭教育サポーターの育成。		平成23年度 活動内容		◇家庭教育学級…小中学校 18講座 806人◇幼児家庭教育講座…保育園 13講座 333人◇就学時子育て講座…小学校で就学時健診 5講座 495人◇思春期子育て講座…中学校の入学説明会 2講座 402人◇家庭教育サポーター…保育園「なかよしの日」で活動 回数55回(各園5回)人数147人(延べ人数)				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	家庭教育学級への参加人数		人	900	794	806	820	
		家庭教育サポーター人数		人	35	23	20	23	
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金	(千円)						
		県支出金	(千円)						
		地方債	(千円)						
		その他	(千円)						
		一般財源	(千円)	725		781		818	
事業費計	(A) (千円)	725		781		818			

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	↗	↗	↗
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	さまざまな機会を活用した家庭教育啓発事業、家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。	さまざまな機会を活用した家庭教育啓発事業、家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。	さまざまな機会を活用した家庭教育啓発事業、家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	人格形成の基礎である家庭教育の充実を図ることは、青少年の健全育成、明るい豊かな社会を目指すうえで、最も重要なことと認識されつつある。更に啓発する必要があると考える。
	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	家庭教育に対して関心の低い保護者に対応した施策が必要。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4308	事務事業名	子ども学びの教室事業	所管	部 課	教育文化部 生涯学習課		
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実		区分	自治事務 ソフト事業 単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進						
	行政改革 推進項目	00 該当なし		事業の開始・終了年度 事業開始 ** 年度 終了予定 ** 年度				
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法第3条				
事業の対象	誰が 誰に 野々市市 市内小学生(全学年)	事業の目的	文化・レクリエーション活動を継続的に行い、年齢や性別・地域を超えた仲間づくりとモノづくりの楽しさを知る。また、市内大学の学習資源の活用を図り、併せて青少年の科学への関心を高める。					
事業の内容	「まなびの教室」及び「サイエンスセミナー」の開催。		平成23年度 活動内容	◇まなびの教室・・・6月から3月の原則毎月第2土曜日【全9回】に各地区公民館で料理・ものづくり・手づくり絵本・水彩画の教室を開催。延べ78名参加。 ◇サイエンスセミナー・・・石川県立大学、金沢工業大学と連携し県立大学と2講座、金沢工業大学と2講座の計4講座を開催。延べ68名参加。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	まなびの教室参加者数	人	85	80	78	78	
		サイエンスセミナー参加者数		80	111	68	70	
		まなびの教室募集人数	人	85	85	85	85	
サイエンスセミナー募集人数		80		90	88	85		
事業の コスト	事業 内訳	区分	H22		H23		H24予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	380		380		350	
事業費計 (A) (千円)	380		380		350			

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	◇まなびの教室・・・【全9回】各地区公民館で料理・ものづくり・手づくり絵本・水彩画の教室を開催 ◇サイエンスセミナー・・・夏休みに大学と連携して科学の実験等の講座を開催	◇まなびの教室・・・【全9回】各地区公民館で料理・ものづくり・手づくり絵本・水彩画の教室を開催 ◇サイエンスセミナー・・・夏休みに大学と連携して科学の実験等の講座を開催	◇まなびの教室・・・【全9回】各地区公民館で料理・ものづくり・手づくり絵本・水彩画の教室を開催 ◇サイエンスセミナー・・・夏休みに大学と連携して科学の実験等の講座を開催	◇まなびの教室・・・【全9回】各地区公民館で料理・ものづくり・手づくり絵本・水彩画の教室を開催 ◇サイエンスセミナー・・・夏休みに大学と連携して科学の実験等の講座を開催

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	まなびの教室・サイエンスセミナーともに一定数が参加しており、市民ニーズがあると考え。体験学習は特に低学年(小学生)のニーズが安定的にある。学社連携の強化を図るためにも継続したい。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	事業全体にかかる費用(材料費・講師報酬)が予算内では十分に賅うことができない。内容の充実のために予算の増額が必要である。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4309	事務事業名	子ども自然体験事業				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成					区分	自治事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令					
事業の対象	誰が 誰に	野々市市 市内小学3年生～6年生		事業の目的	子ども達の生きる力を育み、地域の教育力を活性化するため、地域の協力を得ながら自然体験活動の機会を提供する。				
事業の内容	自然体験教室の開催。		平成23年度 活動内容	自然教室・・・年3回トレッキング、雪遊び、自然観察等をする。◇6月25日(土)雨のため恐竜博物館・砂防科学館◇10月1日(土)キゴ山散策、プラネタリウム◇2月4日(土)ブナオ山自然観察 (延べ67人参加)					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	アウトドアKIDS募集人数(回)		人		40	40	30	
		アウトドアKIDS参加人数(回)		人		31	23	30	
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	300		300		200		
	事業費計 (A) (千円)	300		300		200			

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	自然教室・・・年2回トレッキング、雪遊び、自然観察等をする	自然教室・・・年2回トレッキング、雪遊び、自然観察等をする	自然教室・・・年2回トレッキング、雪遊び、自然観察等をする

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	外で遊ぶことが少なくなった子ども達が、地域ボランティアの方々とふれあいながら、自然の大切さや団体行動の意義を学ぶことのできる場を提供できている。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	子ども達の体力低下が懸念されるなか、ハイキング時の安全面等を検討し、楽しみながら自然を学習する。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4310	事務事業名	青少年活動支援事業				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
						事業開始	**	年度	
						終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令						
事業の対象	誰が 誰に 野々市市 市民全般		事業の目的		ボランティア活動、地域交流事業を通して社会・生活体験を深め、豊かな心と実践力を養う。				
事業の内容	青少年ボランティア団体の育成。石川少年の翼事業への補助。		平成23年度 活動内容		◇ボランティア探検隊飛鳥…16人(介護・福祉施設でのボランティア体験、花いっぱい運動への参加、赤い羽根募金活動、研修会、交流会など)◇石川少年の翼事業への補助金の交付。(23年度参加者なし)				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	ボランティア探検隊飛鳥 活動日数		日	20	18	13	15	
		ボランティア探検隊飛鳥 会員数		人	30	21	16	16	
事業の コスト	事業 費	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	385	47	146				
事業費計 (A) (千円)	385	47	146						

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。赤い羽根募金活動。研修会、交流会など。	介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。赤い羽根募金活動。研修会、交流会など。	介護・福祉施設でのボランティア体験。花いっぱい運動への参加。赤い羽根募金活動。研修会、交流会など。

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	ボランティア活動を通して得られる福祉精神や規範意識は大きい。本事業は青少年の健全育成を促し、地域社会づくりを推進するものとする。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	新規会員の獲得、他のボランティア団体との協力体制の検討。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4311	事務事業名	少年育成センター運営事業				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成						区分	自治事務 ハード・ソフト事業 単独事業
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成							
	行政改革 推進項目	00 該当なし							事業の開始・終了年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令						
	事業の対象	誰が 誰に 野々市市 市民全般、商業店舗	事業の目的	家庭、学校、青少年育成関係団体及び地域住民が一体となり、地域に密着した啓発活動・実践活動を展開し、少年の非行を防止するとともに青少年の健全育成活動の推進を図る。					
	事業の内容	青少年の健全育成を目的とした少年育成センター事業の実施。関係団体が連携した市民総参加の“ののいちっ子を育てる”市民会議事業の実施。	平成23年度 活動内容	◇少年育成センター事業(街頭巡視…延べ608回、インターネット巡視…2回/月、運営協議会の設置、店舗対策会議の開催、ノンアルコール飲料・電子タバコの意識調査) ◇市民会議事業(愛と和のひと声運動…年間5期、子どもと大人のまちぐるみ美化清掃…9,273人参加、携帯電話対策事業プロジェクト(携))					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	巡視活動を行う人数	延べ人数	687	625	608	640		
		子どもと大人のまちぐるみ美化清掃	参加者	14,000	4,659	9,273	10,000		
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H22	H23		H24予算			
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	7,579	7,650	8,022				
事業費計 (A) (千円)	7,579	7,650	8,022						

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・少年育成センター事業の実施。 ・“ののいちっ子を育てる”市民会議事業の実施。	・少年育成センター事業の実施。 ・“ののいちっ子を育てる”市民会議事業の実施。	・少年育成センター事業の実施。 ・“ののいちっ子を育てる”市民会議事業の実施。

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	少年育成センター事業や市内の各種団体・機関で構成された市民会議事業は、地域の希薄化が指摘されるなか、非行防止活動や青少年健全育成活動を推進するためには欠かせないものである。また、青少年の相談活動を行っている教育センターと目的を共有し連携して事業を推進したい。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	プロジェクトK(携)と学校の情報教育との連携、次世代モバイルツールに対する事業展開の検討。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4312	事務事業名	青少年センター管理				所管	部	教育文化部
						課		生涯学習課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実					区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備						ハード・ソフト事業 単独事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令					
	事業の対象	誰が 誰に 野々市市 一般市民及び市内勤務の方		事業の目的		適切な施設管理を実施し、市民に快適な施設利用環境を提供する。			
事業の内容	施設の維持管理及び貸館業務。		平成23年度 活動内容		施設の利用状況…201件 4,107人(件数:青少年…7%、放課後・サークル等…58%、町内会…35%)				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	利用者数		人		3,468	4,107	3,000	
事業の コスト	事業 内 費	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金	(千円)						
		県支出金	(千円)						
		地方債	(千円)						
		その他	(千円)						
		一般財源	(千円)	952		816		909	
	事業費計	(A) (千円)	952		816		909		

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	市が直接行っている管理及び運営方法の見直し、検討を図る。	市が直接行っている管理及び運営方法の見直し、検討を図る。	市が直接行っている管理及び運営方法の見直し、検討を図る。

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	青少年健全育成目的での利用が減ったことから、市が行っている管理及び運営方法の見直し、施設の廃止を検討する。現在周辺町内会と施設の廃止等について協議中。
	E			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)			

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4313	事務事業名	野々市市立志式				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成						区分	自治事務 ソフト事業 補助事業
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成							
	行政改革 推進項目	00 該当なし						事業の開始・終了年度	
								事業開始	** 年度
								終了予定	** 年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令						
事業の対象	誰が 誰に 野々市市 野々市市在住の中学2年生	事業の目的	人生の分岐点に立つ14歳の少年少女が、自ら志を立て、次代を担う者としての自覚と希望を持つための機会とする。						
事業の内容	立志式の開催。	平成23年度 活動内容	・講演会の開催(市内中学校2年の生徒対象) ・講演会テーマ:「安全なネットの接し方」						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	立志式出席者数	人		402	452	460		
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H22	H23	H24予算				
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	19	38	50				
事業費計 (A) (千円)	19	38	50						

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	毎年、講師の激励により生徒から「立志式の意義がわかり、大人への意識を持つことができた」などの声が挙がっており、本事業の効果が表れている。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	講師・講演内容の検討。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4314	事務事業名	放課後子ども教室推進事業				所管	部	教育文化部
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成						区分	自治事務 ソフト事業 補助事業
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(3) 家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上							
	行政改革 推進項目	00 該当なし						事業の開始・終了年度	
							事業開始	平成19 年度	
							終了予定	** 年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令						
事業の対象	誰が 誰に	野々市市 市内小学1年生～3年生		事業の目的		放課後に地域の社会教育施設や小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達が心豊かで健やかに育まれる環境をつくる。			
事業の内容	◇野々市小学校放課後ふれ愛ルーム 毎週水曜日26名◇御園小学校放課後子ども教室 毎週水曜日20名◇菅原小学校放課後子ども教室 毎週金曜日26名◇館野小学校放課後子ども教室 毎週木曜日27名◇富陽小学校放課後子ども教室 毎週水曜日23名◇こどもセンター放課後子ども教室 毎週月曜日15名			平成23年度 活動内容		(学習・スポーツ・文化活動) 折り紙、工作、フラワーアレンジ、クッキング、庁舎見学、グラウンドゴルフ、ネイチャーゲーム、お茶会、交通安全教室、陶芸、防災学習センター見学等(延べ3,664人参加)			
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	教室数		室	10	6	6	6	
		参加人数(各教室平均25回実施/年)		人	5,250	3,480	3,664	3,700	
事業の コスト	事業費	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金 (千円)		669		617		603	
		県支出金 (千円)		668		616		603	
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)		669		749		603	
事業費計 (A) (千円)		2,006		1,982		1,809			

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	(学習・スポーツ・文化活動) 折り紙、工作、フラワーアレンジ、クッキング、庁舎見学、グラウンドゴルフ、ネイチャーゲーム、お茶会、交通安全教室、陶芸、防災学習センター見学等	(学習・スポーツ・文化活動) 折り紙、工作、フラワーアレンジ、クッキング、庁舎見学、グラウンドゴルフ、ネイチャーゲーム、お茶会、交通安全教室、陶芸、防災学習センター見学等	(学習・スポーツ・文化活動) 折り紙、工作、フラワーアレンジ、クッキング、庁舎見学、グラウンドゴルフ、ネイチャーゲーム、お茶会、交通安全教室、陶芸、防災学習センター見学等

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	異学年や親以外の大人との交流の場として、大切な空間になっている。野々市の歴史やモノづくりを学ぶことも取り入れているので、ののいちっ子の育成に役立っている。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	地域ボランティアの人数が減少してきているので、新たな人材の発掘をしなければならない。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4315	事務事業名	公民館施設管理費				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実						区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備							ハード・ソフト事業 単独事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし						事業の開始・終了年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法第21条				事業開始	** 年度	
	事業の対象	誰が 誰に	市 一般市民及び市内勤務の方	事業の目的	適切な施設管理運営を実施し、市民及び施設利用者に快適な施設利用環境を提供する。				終了予定	** 年度
	事業の内容	施設(野々市公民館・中央公民館・富奥公民館・郷公民館・押野公民館)の維持・運営管理。		平成23年度 活動内容	施設の各種保守点検、清掃、修繕、備品管理、セキュリティなど維持管理。運営審議会の開催、施設職員の雇用、施設消耗品、光熱費、燃料費など運営管理。					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	利用件数		件	5,700	5,424	5,352	5,500		
		サークル数		団体	78	73	71	73		
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分		H22	H23	H24予算				
		国庫支出金	(千円)							
		県支出金	(千円)							
		地方債	(千円)							
		その他	(千円)	633	665	500				
		一般財源	(千円)	41,068	48,414	71,211				
	事業費計	(A) (千円)	41,701	49,079	71,711					

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	(野々市公民館・中央公民館・富奥公民館・郷公民館・押野公民館)維持管理、運営 ※大規模な修繕・工事・建設は「新規事業実施計画書」で計上	(野々市公民館・中央公民館・富奥公民館・郷公民館・押野公民館)維持管理、運営 ※大規模な修繕・工事・建設は「新規事業実施計画書」で計上	(野々市公民館・中央公民館・富奥公民館・郷公民館・押野公民館)維持管理、運営 ※大規模な修繕・工事・建設は「新規事業実施計画書」で計上

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	生涯学習の拠点として事業を実施、また多くの市民から利用されている。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	施設の老朽化に伴う計画的改修が必要。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4316	事務事業名	公民館学習活動支援事業(ののいちマナビフェスタ)				所管	部	教育文化部
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
						事業開始	**	年度	
						終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法第12条						
事業の対象	誰が 誰に	市 一般市民及び市内勤務の方		事業の目的	生涯学習社会の実現に向け、生涯学習活動の啓発と発表の機会を設けることにより、一人ひとりが生きがいを実感し、生涯学習への意欲を高めると共に参画を促し、生涯学習の一層の振興を図る。				
事業の内容	中央公民館、文化会館、カメラ、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。		平成23年度 活動内容	中央公民館、文化会館、カメラ、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬に実施し、作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを実施 ※平成23年度は市制施行のため、記念事業も実施					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	開催日数		日		12	13	12	
		参加人数		人		3,000	3,000	3,000	
事業の コスト	事業費 財源内訳	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)		1,417		1,450		1,200	
		事業費計 (A) (千円)		1,417		1,450		1,200	

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	中央公民館、文化会館、カメラ、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬を予定し、作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを	中央公民館、文化会館、カメラ、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬を予定し、作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを	中央公民館、文化会館、カメラ、郷土資料館を会場に市民文化祭を開催。期間は、10月下旬から11月上旬を予定し、作品展、舞台発表(音楽祭・芸能民謡祭)、体験コーナー、模擬店などを

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	老朽化した施設(中央公民館)での開催では、高齢者にとって階段しがなく不便であり、また駐車場が少なく近隣事業所の駐車場を借りている状況である。実施方法の見直しが必要と考える。
	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	マナビフェスタについては、実行委員会を開催するなど各団体の要望などを聞きながら実施しているが、より市民が自主的に企画運営する仕組みが必要と考える。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4317	事務事業名	公民館学習活動支援事業(寿大学事業)				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	2 生涯健康 心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】 3 高齢者と障害のある方の福祉の推進 3 いきいきとした高齢期の実現		重点プロジェクトⅢ 関連施策		区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
				事業開始		**		年度	
				終了予定		**		年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法第3条				
事業の対象	誰が 誰に	市 60歳以上の市民(大学)、寿大学の修了者(大学に院)		事業の目的	熟年者が明るく豊かで生きがいのある生活を送るため、歴史や社会の課題を学習し知識や教養を身につける。併せて生涯活動の推進と仲間とのふれあいの場をつくることを目的とする。				
事業の内容	寿大学校:60歳以上の市民を対象に歴史や教養など各種講座を開催。寿大学院:寿大学校修了者を対象に6コースの専門的講座を開催。			平成23年度 活動内容	◇寿大学校:教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、バス研修など(42人×22回)。◇寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラスの6コース(137人×23回)。				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H22	H23	H24見込	
	成果指標	大学校受講者数		人	966	966	966	1,058	
		大学院受講者数(6コース)		人	3,300	3,168	3,014	3,080	
事業の コスト	事業 内訳	区分		H22		H23		H24予算	
		国庫支出金	(千円)						
		県支出金	(千円)						
		地方債	(千円)						
		その他	(千円)						
		一般財源	(千円)	1,268		1,550		1,200	
		事業費計	(A) (千円)	1,268		1,550		1,200	

B 実施計画

年度 計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	寿大学校:教養、健康、パソコン、歴史、心の講座など年23回の講座を開催。寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラスの6コースの専門的な学習。	寿大学校:教養、健康、パソコン、歴史、心の講座など年23回の講座を開催。寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラスの6コースの専門的な学習。	寿大学校:教養、健康、パソコン、歴史、心の講座など年23回の講座を開催。寿大学院:ちぎり絵、園芸、俳句、書、囲碁、コーラスの6コースの専門的な学習。

C 自己評価

自己 評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	寿大学校・大学院の開設は、熟年者や高齢者の生涯学習活動へのきっかけづくりとなる重要な事業である。
	C			
改善 点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	今後事業の企画運営に市民の参画が必要と考える。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4318	事務事業名	公民館学習活動支援事業(フォルテ児童合唱団)				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
						事業開始	**	年度	
						終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法第12条					
事業の対象	誰が 誰に 市 市内小学1年生～6年生(中・高校生も可)	事業の目的	コーラスを通じて色々な歌に親しみ、情緒豊かな感性を養うとともに、学校や学年を超えた仲間作りを行う。						
事業の内容	児童合唱団の活動補助。	平成23年度 活動内容	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場。						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	活動日数	日	50	49	50	50		
		団員数	人	50	25	27	27		
事業の コスト	事業 内 訳	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	294		300		300		
事業費計 (A) (千円)	294		300		300				

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場	定例活動日時:毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他:他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	健全育成活動として意義のある活動と認識するが、他の青少年団体と同様に自立した団体を目指す。
	E			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	合唱団の今後として、自立した運営が必要と考える。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4319	事務事業名	公民館学習活動支援事業(地区公民館補助)				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
		事業開始		**		年度			
		終了予定		**		年度			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法第12条					
事業の対象	誰が 誰に	野々市市 一般市民及び市内勤務の方	事業の目的	各地区公民館を生涯学習活動の拠点として、地域に根ざした種々の行事、教室等の場を提供することにより、住民のより一層の学習意欲の向上を目指す。					
事業の内容	各地区公民館で、歴史・教養講座、レクリエーションなど自主事業の実施。地域住民の親睦と融和を図るためスポーツイベントや運動会などの実施。		平成23年度 活動内容	◇野々市公民館 13事業 957人 運動会1600人 ◇富奥公民館 9事業 538人 虫送り1300人運動会2000人 ◇郷公民館 14事業 678人 運動会 1000人 ◇押野公民館 16事業 995人 運動会 1000人					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標								
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	4,500	4,500	4,500				
事業費計 (A) (千円)	4,500	4,500	4,500	4,500					

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	地域の特色を活かした、教養講座、ふるさと教育等の講座の実施、運動会の開催など地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。	地域の特色を活かした、教養講座、ふるさと教育等の講座の実施、運動会の開催など地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。	地域の特色を活かした、教養講座、ふるさと教育等の講座の実施、運動会の開催など地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。

C 自己評価

自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	各地区公民館では、地域に根ざした自主事業を実施し、市民に最も近い場所で生涯学習社会の形成を担っている。今後も市民ニーズと現代的課題を的確に把握し事業を継続する。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	各公民館で、運営の共助となる地域のシステムが必要と考える。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4320	事務事業名	図書館奉仕事業				所管	部	教育文化部
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務 ソフト事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
						事業開始	**	年度	
						終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	図書館法					
事業の対象	誰が 誰に 野々市市 市民や市内通勤通学の方	事業の目的	必要となる多様な資料や情報を提供し、住民の読書を推進する。						
事業の内容	図書館施設の管理・運營業務。	平成23年度 活動内容	図書の貸出、返却等の業務。移動図書館の運行(貸出人数:1,046人)。おはなし会(23回)や教養講座の開催(3回)。レファレンスサービス。学校図書館の支援と連絡車の運行。施設の各種保守委託、清掃、セキュリティ、備品管理など管理業務。						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	貸出冊数	冊		92,179	91,802	93,000		
		貸出人数	人		36,510	28,084	28,181	29,000	
事業の コスト	事業費	区分	H22		H23		H24予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)	1,794						
		一般財源 (千円)	17,500		18,176		19,162		
		事業費計 (A) (千円)	19,294		18,176		19,162		

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	図書館の管理・運営	図書館の管理・運営	図書館の管理・運営

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	市民ニーズも高く、蔵書数や施設の充実など継続的に取り組むことが重要と考えている。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	新たな図書館について、建設に向けて市民協働に基づく運営体制や適切な建設場所の検討を進める。		

平成24年度 事務事業評価表(平成23年度実施事業分)

A 行政評価

事業番号	4321	事務事業名	読み聞かせ推進事業				所管	部 課	教育文化部 生涯学習課
事業の概要	総合計画 施策名	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実						区分	自治事務 ソフト事業 単独事業
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし						事業の開始・終了年度	
				事業開始	**	年度			
				終了予定	**	年度			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画 町子ども読書活動推進計画	根拠法令	子どもの読書活動の推進に関する法律					
事業の対象	誰が 誰に 野々市市 市内の10ヶ月乳児とその保護者	事業の目的	親子が絵本を介して温かいひとときを過ごすことによつて親子の絆を育んだり読書の素晴らしさを啓発する。						
事業の内容	絵本の読み聞かせや絵本やアドバイス冊子等の配布(ブックスタート)。図書ボランティアの育成。		平成23年度 活動内容	絵本の読み聞かせや絵本等の配布(ブックスタート): 延べ24回(親子595組)					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H22	H23	H24見込		
	成果指標	活動日数(ブックスタート)	日		24	24	24		
		参加親子(ブックスタート)	組		624	595	640		
事業の コスト	区分		H22	H23	H24予算				
	事業 内訳	国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	600	598	568				
	事業費計 (A) (千円)	600	598	568					

B 実施計画

年度計画	区分	H25計画	H26計画	H27計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	絵本の読み聞かせを行なう。 絵本やアドバイス冊子等を渡す。 (ブックスタート) 読み聞かせを行う人を支援する。	絵本の読み聞かせを行なう。 絵本やアドバイス冊子等を渡す。 (ブックスタート) 読み聞かせを行う人を支援する。	絵本の読み聞かせを行なう。 絵本やアドバイス冊子等を渡す。 (ブックスタート) 読み聞かせを行う人を支援する。

C 自己評価

自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	子どもへの読み聞かせのきっかけ、また子どもが自発的に読書を楽しむ機会として必要と考える。
	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	子どもの発達段階での読み聞かせの重要性を啓発しながら、施策を推進していく必要がある。		

・(3-2) 学識経験者からの意見

生涯学習社会の充実ということに関しては、寿大学校事業や市民大学校事業、各公民館の自主事業など、順当に推移している。事業の内容についても、社会の課題や市民のニーズに的確に対応するべく行っている。子どもたち対象の事業については、モノづくりや体験学習、科学への興味を誘う事業など、健やかな成長を願い学校の授業とは趣の異なった内容となっていると認識している。

家庭教育に関する事業については、幼児期から各発達段階において、様々な機会を活用し家庭での教育力を高めるための事業を行っている。しかしながら、関心の薄い家庭からの参加が少ないなど、問題も表面化している。「ののいち元気家族三か条」など生活習慣の標語を更に活用するなど、積極的に各家庭に家庭教育の大切さが届くよう事業を進めていただきたい。

青少年の健全育成については、管内の刑法犯少年の検挙・補導件数が年々減ってきていると聞いている。現況の全てを表すものではないが、これまでの取り組みの成果と認識している。今後も関係機関と連携しながらWeb上も含め巡視活動を続けていきたい。

公民館など施設については、老朽化が目立っており、バリアフリー化を含めて大規模な改修が必要と痛感している。新図書館の建築も検討する中で、総合的な生涯学習センターなど複合施設も考慮に入れて検討を進めていただきたい。

・(3-3) 今後の方針

- ① 「学びと出会い 夢かなう まち」を基本理念に生涯学習の推進によるまちづくりを進めていきます。
- ② 生涯学習による市民の自己啓発活動を支援し、市民大学校事業など市民の参画を進めながら協働の地域社会づくりに努めます。学習内容や形態についても、市民ニーズを考慮しながら、市内や近隣の大学と連携し、多様な学習機会を研究・提供していきます。また、市の歴史や文化を学び、地域に愛着を持っていただく取り組みを行っていきます。地域の公民館活動を生涯学習の核として支援し、いつでも、どこでも学べる環境づくりに努めます。
- ③ 家庭教育については、教育力を高めるべく様々な機会に学習機会を提供し、「ののいち元気家族三か条」などを活用しながら啓発活動を続けます。また、家庭教育サポーターの相談活動など、保護者に対して温かい支援事業を推進していきます。
- ④ 青少年健全育成については、少年育成センターの街頭巡視活動や“ののいちっ子を育てる”市民会議の「愛と和のひと声運動」や携帯電話対策事業など青少年の健全育成活動を積極的に展開します。
- ⑤ 施設については、老朽化に伴う修繕を計画的に実施します。図書館では、蔵書の拡充や移動図書館車などのサービス、幼児期からの読書習慣を身に付けるなど事業を進めていきます。富奥公民館の改築や新図書館の建設など市内社会教育施設の全体像についても研究していきます。